

さかいまち 議会だより

No. 145

平成21年2月1日発行

編集発行・茨城県境町議会
広報編集委員会

〒306-0495 境町391-1

TEL. 0280-81-1316

FAX. 0280-87-5873

ホームページアドレス

<http://www.town.sakai.ibaraki.jp>



(渡辺 一雄氏撮影)



平成21年最初の「議会だより」発行に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

町民の皆様には、お健やかに平成21年の輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、町議会活動にあたたかいご理解とご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

早いもので、今年は改選を迎えますが、この間町民の信頼を受けた私たち議員は、町民の代表者として、

町の目指している安心・安全・安定のまちづくりのために協調し合い、執行権に介入し、慣れ合いとならない態度を貫いて参りました。

今後とも、地方自治体の意志決定の最高機関として、議会の権威と品位を低下させることなく、町政の諸問題を慎重に審議し、住民福祉の向上のために心新に邁進する決意でありますので、今後とも議会に対する深いご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

さて、世界の金融市場は、昨年のアメリカのサブプライム・ローン問題に端を発し、更には昨年9月以降の金融危機に加え、百年に一度と言われる混乱に直面し、世界的な景気後退の兆しが強まっている中で、外需に依存してきた日本は、世界経済の減速に伴い景気後退の局面に入っており、深刻化を増しております。

ご承知のとおり、この影響が国民にまで到達し、派遣社員やパート社員等の解雇や就職内定の取り消し等不安を持ったまま年を越された方も数多くおられます。

地方自治体においても政局の先行きが不透明な中にある、地方への大きな影響が懸念される状況下で、

地方行財政の運営に当たっては地方分権改革の推進に伴い自己決定・自己責任のもと、財政健全化の推進が必要となっております。

こうした中で、地方自治体におきましても、今以上に厳しい財政状況が予想されますが、少子高齢化の進展や環境問題、後期高齢者医療制度への対応、地域福祉施策の充実、更には多種多様な住民のニーズに応えるための効率的な行政の運営等難しい行財政問題が山積しておりますが、次の世代に誇りを持つてつないでいく境町を築いていかなければなりません。長寿社会においては、競争よりも協調が、効力よりもゆとりが、物の豊かさよりも心の豊かさが求められている時代でもあります。

自分が「してもらう」のではなく「わすかでもいい、自分は「何ができるか」を考える時代であります。

昨年一年の議会を振り返りますと様々な問題もありました。日本たばこ産業跡地問題については、昨年の12月の第4回定例会において調査結果報告書を議決し、この報告書に見書を添えて町に提出し終結しました。

また、圏央道の開通が平成24年度に予定されておりますので、その経済効果を最大限まちづくりに活かすべく提言書を議決し、町へ提出しました。

どんなに立派な夢をもってもどんなに立派な理想をもっても、どんなに素晴らしい希望を抱いていても、何「実行」しなければ、実現には、何も実を結びません。結局心になかったことと同じになってしまう。

終わりに、私たち議会議員は、町民の皆様の負託を受けた責務と役割の重大さを自覚し、活発な議会活動に取り組む決意でありますので議会に対しこれまで以上の関心を持っていただきたいと思いますようお願い申し上げますと共に、町民の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げます。ご挨拶いたします。